

会議議事録

事業名	職業実践専門課程等を通じた専修学校教職員研修プログラム開発及び推進
代表機関	一般社団法人 全国専門学校教育研究会

会議名	第3回質保証・向上推進委員会、第4回実証講座WG、調査WG、教員資質向上WG 合同会議
開催日時	平成29年12月19日(火) 15:00~17:00
場所	中野サンプラザ リーフ
出席者	①委員：岡村、成底、佐伯、大城、上里、山根、平田、二階堂、稲永、佐藤(郡山)、佐藤(ベネッセ)八木 ②代理出席：森内(福田委員代理) ③事務局：飯塚 (参加者合計14名)
議題等	①調査 <u>学校調査</u> ・平成30年度以降に有力な研修テーマは7項目に集約。 6. カリキュラム編成に関する知識・スキルを高める。 9. 学級運営や集団づくりなど効果的な授業を行うためのスキルについて学ぶ。 10. 学習状況を把握し、適切に評価するための知識やスキルを高める。 14. 学校運営、学科運営に必要な知識やスキルを学ぶ。 15. 学校に関わるステークホルダーとのコミュニケーション・連携・対応方法を学ぶ 16. 入学から卒業までの学生生活や学修状況に関する情報を取得・管理し、学生募集や中退学要因の解明、教育の質を保証していくための知識やスキルを学ぶ。 17. 自校の教職員の指導力向上に向けた課題等を把握し、必要な研修を企画・設計するための手順や、必要な知識やスキルを学ぶ。 ・現状の状況として、研修につて積極的に取り組んでいる河原学園、穴吹学園、KBC 学園、麻生塾に対して、結果の解釈と妥当性に関して聞き取り調査を行うことを決定。

協会調査

- ・研修の企画立案を行う体制を何らかの形で組織している団体は全体の57.1%
- ・教員としての専門性・能力を育成する研修の中で
 - 総合的な理解を促す研修を実施している団体は55.1%、
 - 知識やスキルを身に付ける研修を実施している団体は32.7%
 - 指導・評価方法を学ぶ研修を実施している団体は40.8%
- ・職員として専門性・能力を育成する研修を実施している団体は32.7%
- ・現在都道府県専修学校協会、分野別専門協会等で実施されている研修は平成28年度に257テーマ
- ・新たに開発した研修プログラムの普及団体として依頼できそうな団体は15団体程度

②研修支援インストラクター育成

- ・研修支援インストラクター養成冊子について検討
- ・名称について現在の名称と内容との整合性が取れていないことから次回委員会までに新たな名称を検討する。
- ・冒頭に本書の使い方や目的などを記す。
- ・本書の対象者は、専修学校関連団体の事務局担当者であることを意識した内容とする。
- ・内容は3部構成とする。
 - 1部は研修計画を策定するまでに段取りをガイドする
 - 2部では研修の企画立案、準備、実行、フォローアップ等の項目を掲載することし、実施・運営に必要なツール等も参考として掲載する。
 - 3部では、セミナー形式とグループ学習形式の典型的な事例を紹介する。

③情報公開講座実施についての確認

日 程

平成30年1月16日(火) 13:30～16:00
福岡県 JR博多シティ会議室 定員80名
平成30年2月 2日(金) 9:30～12:00
東京都 東京ガーデンパレス 定員100名

講座内容等

○文科省より学校評価、情報公開の変更点

	<p>○三菱総研より手引の活用法について 株式会社三菱総合研究所 主任研究員 沼田 雅美 様</p> <p>○事例紹介① 「日本電子専門学校」 日本電子専門学校 校長 古賀 稔邦 様</p> <p>○事例紹介② 「森ノ宮医療専門学校」 学校法人森ノ宮医療学園 法人本部長 安田 実 様</p> <p>④成果報告会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none">・成果報告会は、本会の例会に合わせて報告する。・2月2日（金）午後からを予定・場所は、東京ガーデンパレス <p>⑤HPの作成</p> <ul style="list-style-type: none">・本年度の印刷物は、セミナー等で利用する資料等を主体とし、その他のアウトプットは、HPから掲載をもって普及する。
その他	

以上